

美濃市文化財保存活用地域計画 概要

計画期間 令和3年度(2021)～12年度(2030)の10年間

1 文化財保存活用地域計画作成の背景と目的

近年の人口減少社会及びライフスタイルの多様化に伴う文化財保護の担い手減少が大きな課題となる中、市内に存在する指定・未指定の文化財を総合的に把握し、市内各地域に息づく歴史文化を地域住民に再発見してもらい、保護を図るとともに観光資源として活用しながら地域の活性化に繋げることを目的として「美濃市文化財保存活用地域計画」を作成します。

2 美濃市における歴史文化の特徴

美濃市には清流長良川が南北に、板取川が東西に流れるなど水に恵まれており、古くから人々の生活が営まれてきました。

市の北西部は豊富な水と自然環境により和紙の生産が古くから盛んに行われ、現在も和紙生産が行われています。

南東部では、近世に入り金森長近により小倉山城、城下町、川湊、街道が整備され物流の拠点として発展しました。

北東部では長良川沿いに街道が整備され、人々の往来とともに様々な地域の文化がもたらされ、山と川がもたらす恩恵により、山岳信仰を中心とした自然信仰の中心となりました。

南西部では、『古事記』『日本書紀』に記載される神話ゆかりの地として多くの社寺が造られたほか、中世には「紙市」が開かれ、京の文化が伝わったことで独自の祭礼が行われています。

3 「文化財」「歴史文化」「関連文化財群(ストーリー)」について

1. 「文化財」とは…

美濃市の歴史や文化を示す地域の資産（指定・未指定を問わない）。

2. 「歴史文化」とは…

美濃市の歴史や文化を示す地域の資産（指定・未指定を問わない）に、伝統的な祭礼といった地域の人の活動とそれらを支える地域独自の景観を含めたもの。

3. 「関連文化財群(ストーリー)」とは…

美濃市の歴史や文化を示す地域の資産を歴史文化の特徴に基づいて一つのまとまりのあるストーリーとして捉えたもの。



4 美濃市における関連文化財群（ストーリー）の構成

本市の歴史文化の特徴を踏まえて下記のとおり4つのストーリーを構成しました。

美濃和紙の生産と集散

相互に影響

自然とともに生きる人々とそこに育まれた美濃の歴史文化

1. 「美濃和紙の生産」世界が認める紙と技術

清らかな水と豊かな自然に恵まれ、古代より上質な和紙の産地として栄えてきました。



2. 「和紙産業による発展」和紙の代名詞「美濃」の紙(カミ)

和紙を扱う商人たちにより莫大な富と独自の文化が開き、「美濃和紙」は和紙の代名詞となりました。



3. 「陸と川の恵み」交易、生業、自然と畏敬

和紙の生産、集散、そして全国各地の消費地を繋いだのは陸路(街道)と河川(川湊)でした。豊かな自然は潤いをもたらす一方、災害ももたらします。人々は神社仏閣を通して祈りを捧げました。

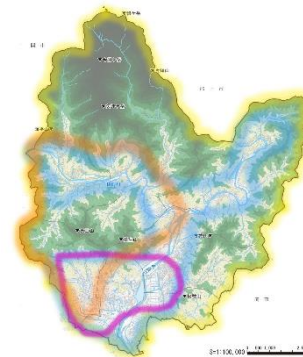


4. 「山岳信仰と神話伝承」山に宿る神(カミ)

市北部に聳える山々に宿る神への厚い信仰心。南部地域に広がる神話伝承地。これらは地域に根付き、人々は敬意を払い生活を営んできました。



5 関連文化財群（ストーリー）の関係範囲



1. 「美濃和紙の生産」世界が認める紙と技術

2. 「和紙産業による発展」和紙の代名詞「美濃」の紙(カミ)

3. 「陸と川の恵み」交易、生業、自然と畏敬

4. 「山岳信仰と神話伝承」山に宿る神(カミ)

1. 重点事業（中核となる文化財について特に取り組む事業）

	事業内容
重点事業1	本美濃紙の伝承に関する事業
重点事業2	伝統的建造物群保存地区を中心とした事業
重点事業3	信仰と祭礼にかかる事業

2. 関連文化財群（ストーリー）に基づく事業

ストーリー名	事業内容
美濃和紙の生産	和紙の調査研究・新市場の開拓などの事業
和紙産業による発展	伝統的建造物群保存地区保存計画策定及び防犯・防災意識啓発事業
陸と川の恵み	長良川流域の遺跡範囲確認調査事業
山岳信仰と神話伝承	山岳信仰巡礼ルート周知事業
総合的に取り組む事業	歴史文化資産データベース化事業 社会科副読本作成・祭礼用具等整備事業 等